



やまばと  
学校だより No.9



千葉市立養護学校  
千葉市若葉区大宮町1066の1  
TEL 043(265)9293  
令和6年11月11日(月)発行

みんなでわっしょい!市養パワーでもりあがろう  
～魂こめて全力で～

10月26日(土)、オープニング前から昇降口には多くのお客様が詰めかけ、「第41回ちしろまつり」が盛大に行われました。今年は、プレハブ校舎2棟目の建設と重なり、グラウンドではなくオープニングからエンディングまでを体育館や校内で開催する形となりました。

10月初めに生徒会が中心となり導入集会を開き、スローガンを発表。そこからは、各作業班の製品作りだけでなく、お囃子や神輿、装飾やステージ発表等、学校全体が一丸となりちしろまつり成功に向け準備を進めてきました。前日集会では、各学年の本番さながらの個性の光る・迫力ある発表に拍手をしたり、各作業班の思いの詰まった製品の紹介動画を見たりし、気持ちを高めて当日に臨みました。当日は、どの作業班も長蛇の列ができるほどの人気。校内を回っていると、保護者の方だけでなくお世話になった先生方から、生徒たちの一生懸命な姿や成長した姿に驚きと喜びの言葉をたくさん頂戴しました。笑顔やうれしい言葉の飛び交う、ちしろまつりとなりました。この大成功の陰には、一緒にまつりを盛り上げていただいた、来場者や保護者の皆様のご協力のお陰と感謝しております。ありがとうございました。

本校にとって1年間の中で大きな節目となるちしろまつりですが、次に待つ行事や学習に向けて生徒たちも気持ちを切り替えていきます。今後も保護者の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

## 大宮中学校との交流及び共同学習

1985年(昭和60年)より始まった大宮中学校との交流ですが、今年度も大宮中の1年生35名の生徒と実施することができました。

昨年度に引き続き、障害理解のための事前学習として、キャラバン隊「ららら」の皆さんが大宮中学校で講演をしてくださいました。その後、中高それぞれの作業班に配属される生徒と各作業班の生徒同士、オンライン上での顔合わせを行いました。お互いの自己紹介の後、事前に作成した動画を見たり、製品の紹介をしたり、質問をしあったりする中で、お互いを知る機会となりました。大宮中の生徒から「当日が楽しみ」「話しやすかった」「みんないい人達だった」という反応をいただきました。

実際の交流として10月17日、18日の2日間、作業班毎に一緒に活動を行いました。各作業場は大宮中生徒を誘導する高等部生徒の声掛けや行動を進んで行う姿が見られ、頼れる先輩でした。また、1つの工程を任されて黙々と作業に取り組む姿や計量作業を本校生徒と大宮中生徒が協力して行う姿、休憩中に楽しそうにおしゃべりをする姿など素敵な場面が多数見られました。難しい工程にチャレンジしてできるようになったことで達成感を感じている生徒や作業時間中にも関わらず休憩したいと弱音を漏らす生徒もあり、本校生徒の日々の頑張りを肌で感じてくれたのではないかと思います。また、対面式と解散式を運営してくれた生徒会の役員生徒が温かい雰囲気を作っていました。

## <個別の指導計画 配付について>

後期の個別の指導計画を例年、11月下旬に配付しておりましたが、市教委で10月21日(月)から発生した千葉市第2次CABINETシステム障害の影響により、12月上旬の配付に変更させていただきます。ご迷惑おかけしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。